



はなさと

第 144 号 29・1・1
TEL 35-5500

新年を迎えて

施設長 田中 みどり

皆さま、あけましておめでとうございます。
病院と勝手が違うはなさとに着任後、あつという間に九カ月が過ぎ、ご利用者及び職員の皆さまに只々感謝です。

また四季折々の行事等に際しては、ボランティアや地域の皆さま方に支えられて、ご利用者の皆さま方に楽しいひと時を過ごして頂くことができ、併せて感謝しています。

はなさとも開設二十年目に入っております。

建物・設備のハード面では、あちらこちらを修理をしながらも大切に使用していきたいと思えます。

昨年は重症心身障がい児の皆さんの利用を開始しましたが、職員より若い子どもさんのエネルギーを感じて頂けたでしょうか？

今年の干支「酉」は「鳥」ニワトリ」のことですが、中国では「天の使い」で幸運を運んでくれ、

文（知恵）・武（たくましさ）・勇（勇氣）・仁（思いやり）・信（信頼）の五徳がある神聖な



鳥と考えられています。

「酉」という漢字は、もともとお酒をいれるとつきりから成り、成長や成熟を表し、今まで頑張ってきたものの成果が表れる年という考え方があられるそうです。

また「酉」のつく年は、運氣や人を取り（酉）込み、商売繁盛につながるとも言われますので、皆さまにとつて実り多い一年であることを願っています。

今後ますますご利用者の皆さまに喜んで頂ける施設となるよう、スタッフ共々アイデアを出しあい、職員も仕事を楽しみながら、日々の生活の中で創意工夫していきたいと考えています。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

太鼓演奏



十二月十四日(水)、花里小学校四年生の六十名の皆さんが来てくださり、太鼓を演奏してくれました。
すごく力強い演奏で、とても小学校四年生とは思えない迫力がありました。利用者の皆さんも元気な演奏に聞き入ってみえ、

最後は大きな拍手を送っていました。少し早めの素敵なクリスマスプレゼントになりました。
花里小学校四年生の皆さん、ありがとうございました。

クリスマスキャンドルサービス

十二月十九日(月)、JA岐阜厚生連看護専門学校の学生さんがクリスマスキャンドルサービスの慰問に来て下さいました。

キャンドルを持った学生さんたちが、「きよしこの夜」を歌いながら二階と三階のフロアへ現れ、「ジングルベル」や「もろびとこぞりて」を素晴らしい歌声で披露して下さいました。

JA岐阜厚生連看護専門学校の皆さんと先生方、心温まるクリスマスプレゼントをありがとうございました。

